

平成 15 年度機器・分析技術研究会を終えて

技術部機器分析グループ 中村昇二

平成 15 年 11 月 20 日と 21 日の二日間、標記「平成 15 年度機器・分析技術研究会」が全国の国立大学高専・大学共同利用機関等からの参加を頂き、ここ三重大学講堂の三翠ホールにて盛大に開催されました。紙面を借りて少し報告をさせていただきます。

この研究会は 9 年前に国立岡崎共同利用機構・分子科学研究所からスタートし、その後毎年各大学持ち回りで開催を行っている全国規模の技術職員による技術職員のための技術研究会です。参加された方々は、全国の 41 大学高専・共同利用機関等から 163 名ということで年々参加者が増えており、発表件数も口頭発表 21 件・ポスター発表 37 件を数えこちらも年々増加傾向にあり全国技術職員の意識の高まりを感じました。

技術研究会の発表内容としては、あらゆる分析や測定等に関して、日常の業務から生まれた創意工夫や苦労話などの発表および所属機関・センターの紹介などを中心に、装置に関わる開発・改良、また失敗談等を発表して頂きました。ポスター発表の中には、実際に器具等を搬入し実演を行って頂いたものまでありました。二日間にわたる口頭発表会場内では発表内容に関して活発な質疑がなされ熱心なあまり時間超過ということが多数見受けられました。また、機器・分析技術研究会恒例の技術交流会（懇親会）が初日のプログラム終了後催され、加藤工学部長臨席の下、100 名超の参加者で盛大に開かれ技術交流が行われました。今年から新たな試みとして、ポスター発表で掲示されたポスターの美的センスを競争したベストデザイン賞を設け、参加者から投票して頂き、懇親会々場の場で入賞者二名に賞状・賞品にて表彰するというアトラクションを設けました。ご賛同頂いた多数の参加者のお蔭で盛況の内に終わることができました。わずか二日間の研究会開催でしたが、全国の技術職員の技術交流および懇親に多小なりとも貢献できたのではないかとスタッフ一同自負しております。尚、次年度開催は研究会としてはじめて九州の地で開かれます佐賀大学で予定しております。

最後に、遠方よりご参加頂いた全国の技術職員の方々にお礼を申し上げるとともに、開催に関してご協力頂いた教官、事務官の方々に感謝申し上げ報告と致します。

